




入院診療計画書 「化学療法 シスプラチン+アリムタ(ペレトレキセド)+アバスチン(ベバシズマブ)を受けられる

さんへ」

(病名) _____ (症状) _____

(説明日) _____ 年 月 日 (ご本人・ご家族)

確認サイン

経過 月 日	入院時 / /	治療1日目 / /	治療2~3日目 / ~ /	治療8日目~ / ~	退院時 / 頃
到達目標	治療のスケジュール及び治療中の注意点について理解できる。	副作用出現時は早期に処置を受け苦痛を軽減できる。		感染予防について理解し、実行できる。	退院後の日常生活における注意点について理解できる。
治療 処置	虫歯、口内炎、巻き爪、痔などがありましたらお知らせ下さい。	シスプラチン、アリムタ、アバスチン、吐き気止め、利尿剤などの点滴をします。(約6~7時間) 点滴中に気分が悪い、点滴部位の痛み、腫れがあればお知らせ下さい。	500mlの点滴を4本行います(約4時間)。吐き気がある時は吐き気止めの点滴を追加します。尿量や体重に応じて利尿剤の注射を行います。必要時治療4、5日目も同様の輸液を行います。	白血球や血小板の数が少ない時は回復を促進するための注射をする場合があります。	
手術	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (術式: _____)				
検査	採血、レントゲン、心電図、CTなどを必要に応じ行ないます。	蓄尿していただきます。7時と16時に体重測定をします。		採血、レントゲンなどを必要に応じ行ないます。	
薬剤 服薬指導	現在飲んでいるお薬やサプリメント、アレルギーがあればお知らせ下さい。パンピタンの内服を継続してください。	日頃から服用されている薬は、当院の薬に代えて処方します。スタッフの指示に従って服用して下さい。下痢や便秘があればお知らせ下さい。下痢止めや下剤を使用します。吐き気がある時は、吐き気止めの内服や点滴をします。パンピタンは指示があるまで継続してください。			
食事 食事指導	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 普通食(糖尿病や高血圧の方は治療食となる事があります) 食べ物のアレルギーがあればお知らせ下さい。	吐き気や食欲低下時はご希望にそって食事内容の変更ができます。(お粥、麺類、パン、フルーツなど) 吐き気があるときは1回の食事の量を少なめにし、回数を多くしてみることをお勧めします。 主治医の許可があれば持ち込みの食事も可能ですが、白血球が少ないときの生ものや刺身は避けましょう。		 	
安静度	主治医から制限がなければ自由です。点滴中は漏れを予防するためにトイレ以外は安静にすることをお勧めします。ふらつきがあるときは安静にします。				
清潔	入浴できます。	血小板の数が少ないときは入浴を控えていただき、清拭や洗髪をします。また出血を避けるためカミリでの髭剃りは避け、歯ブラシは柔らかいものを使用します。排便後はウォシュレットを使用し、肛門の周りをきれいに洗浄します。感染症予防のためマスクの着用や手洗い、うがいをこまめに行い、病室入り口の手指消毒剤をご利用下さい。			
患者・家族 への説明	主治医が検査や治療の計画について説明します。看護師が病棟を案内し、入院生活、体重測定、蓄尿方法について説明します。治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	のどの詰まる感じ、息苦しさ、動悸、腹痛、皮膚の痒みや赤み、下痢、便秘、口内炎、尿の出が悪い、むくんでいる、頭痛、鼻血、痰に血が混じるなどの症状がある場合はお知らせください。 感染しやすい時期になります。治療の副作用で体がきついときは清拭や洗髪、トイレなど身の回りのお世話をさせていただきます。		主治医より治療の効果や次回の治療予定について説明があります。 入院費用の概算や退院手続き、退院後の生活の注意点について説明します。原則として退院は午前中にお願います。(土日は午後)	

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ねください。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名